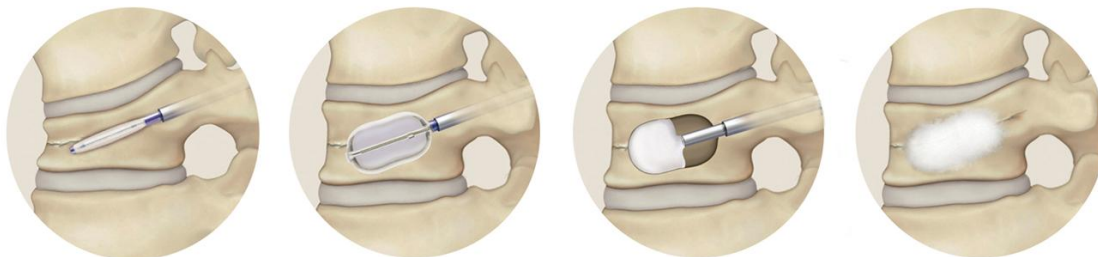


## BKP（バルーン・カイフォラスティ） 椎体形成術について

高齢者の増加に伴い、脊椎圧迫骨折を生じる方が多くなっています。通常はコルセット、安静、内服治療で治癒する方が多いのですが、中には難治性の腰痛になることがあります。原因として骨折部が癒合しないで偽関節になることがあります。BKP手術とは潰れた椎体内にバルーンを入れて変形を矯正し、骨セメントを注入して骨折を治す新しい手術方法です（下図参照）。

当院では平成23年4月より愛媛県内で最初にBKP手術を導入し圧迫骨折治療にあたっています。平成24年の保険診療改正によりBKP手術は「経皮的椎体形成術」として正式な手術として認められました。BKP手術は認定資格が必要で、認定病院での手術実習を受講し、試験に合格した医師のみが施行できます。

BKP手術に関してのご質問がある方は当院整形外科外来までご連絡ください。



代表症例



椎体内の空洞形成（偽関節）



椎体内をバルーンで拡張して骨セメントを充填